こうちょうしつ

校長室だより　第3号

2020.12.25

「豊かな人間性を持ちたくましく生き抜くとともに社会に貢献する生徒」

～継続は力なり～

「だれもがきてよかったと思える」野村中学校

2学期終了

つながりをもてた、実り多い学期でした

いよいよ2学期も今日で終了。今年も残すところ一週間となりました。君たちにとってどんな2学期で、2020年でしたか。

今年を振り返ると12月14日に今年の世相をあらわした漢字が発表され【密】という一字が清水寺の森清範貫主により書かれました。

まさしく、この字があらわしているように、密にならないように、マスク、手洗い、体調管理と言い続けたコロナ禍の一年でした。いろいろな生活様式が変わり、学校も、今までの当たり前に行い、できてきた事が出来なくなったりしました。今後も当たり前が変わってくると思います。

不易流行という言葉を聞いたことはありますか。意味は、いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。また、新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが不易の本質であること。まさしく、この言葉通りの一年で、行事を振り返ると、入学式、陸上競技大会、文化発表会、修学旅行、合唱コンクール、できないではなく、どうすれば感染症のリスクを下げて実行できるか。それは、われわれ教職員はもちろん、君たち一人一人が考えて、行動してくれ、努力してくれたからこそできたことです。ありがとうみんな。伝統を引継ぎながら新しい形のものを作っていく。今後も、このような事が続いていきます。前向きな考え方、気持ちで何事にも取り組んでいきましょう。

明日からの冬休み、コロナ感染症やインフルエンザにならないように、規則正しい生活を心がけ、過ごしてください。

【一年の計は元旦にあり】

良い新年を迎えてください。